

すてっぴ



(隔月発行)



ジェンダーを学ぶ



ジェンダーに関連する言葉をいろいろなところで目にします。

ジェンダーバイアス、アンコンシャス・バイアス…

ジェンダーってなに？何が差別なの？ジェンダーに関連する本、ちょっと覗いてみませんか。

ジェンダーってなんだろう？



基礎ゼミ ジェンダースタディーズ
守如子、前川直哉著
世界思想社



ジェンダーについて
大学生が真剣に考えてみた
一橋大学社会学部
佐藤文香ゼミ生一同著
明石書店



生活の中にひそむ差別って何？



「アンコンシャス・バイアス」マネジメント
守屋智敬著
かんき出版



日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション
デラルド・ウィン・スー著
明石書店

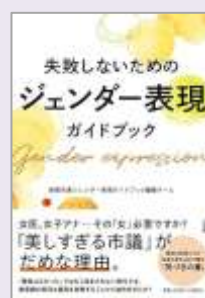
“何気ない一言”を考えてみよう！



早く絶版になってほしい
#駄言辞典
日経×woman 編
日経 BP

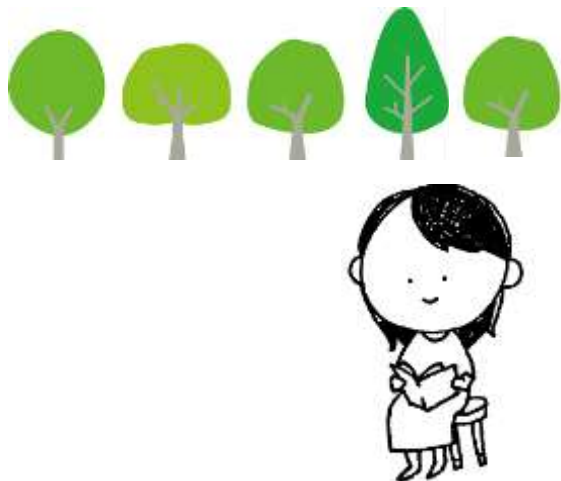


女性を閉じこめる
「ずるい言葉」
森山至貴著
WAVE 出版



失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック
新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム著
小学館

新着図書紹介



美人はそれほど得しない？

山口真美著

早川書房 2026



ルッキズムは、外見に基づく差別または偏見のことであり、場面と関係のない外見評価によって不利益を被ることだという。人はどうしたら「見た目」の呪縛から逃れられるのか。日本では女性の顔の美醜が主だが、欧米では肥満が問題とされ、女性限定でも顔限定でもないという。著者は、発達心理学者で、顔の研究者。



ふたりの読書会

向井和美著

岩波書店 2026

カナダの刑務所で行われている読書会を翻訳した書籍や、自身の読書会の経験をまとめたエッセイを世に送り出してきた著者に、思いがけない出会いが待っていた。それは強盗殺人の罪で20年服役している受刑者からの手紙である。「本を読んでいたら、自分は罪を犯さなくて済んだのではないか」。真摯でまっすぐな手紙に、同じ本を読んで手紙で語り合う読書会を著者は提案する。3年間で100冊近い本が交わされた。こんな手紙を書く人が罪を犯したのかと思わずにいられない。読書会は今も続く。

うちのツマ知りませんか？

野原広子著

オーバーラップ 2026



ツマの失踪というミステリー仕立てにはなっているが、何年か夫婦という形態を経験した人たちにとっては、自分たちに置き換えて多かれ少なかれ当てはまるエピソードが満載。

夫だけでなく、息子や嫁への不満、母への恨みなどがたまり、自分の不幸は誰かのせいになってしまう気持ちは、きっと共感できるはず。男女問わず読んでほしい野原広子ワールド全開のコミックエッセイ。

絶望しかけた女子のための世界史

ティチャー・ルコック著

大和書房 2026



「かつて女性は従属し、時代の進歩とともに徐々に解放されていった」。しかし、本当の歴史は単純ではなく、声を上げて闘った女性たちが確かに存在したが、その姿は長く見えにくくされてきた。先史時代に狩りをしている女性たちだった。この世界の半分以上は女性なのに、歴史上に活躍した女性の史実が少なすぎるおかしさに、この本から改めて気づかれる。フランスで16万部越えのベストセラー。

オリヴァ・デナーロ

ヴィオラ・アルドーネ著

小学館 2025



「償い婚」という言葉をこの本で初めて知った。イタリアで実際にあった因習という。暴力や脅迫などで女性をレイプしたとしても、犯罪者が被害者と結婚すれば罪は消滅するという恐ろしいもの。これは法律に明記もされていて、女性保護のためだったということにさらに衝撃を受ける。フランスやスペインの法律にも同様のものが見られたという。本書は、男性に従属することが当たり前の家父長制の時代、裁判で償い婚を拒否した少女のその後と、その家族の長い歳月を描いた物語である。モデルとなる女性は実在する。

書 名	著者名	発 行
「話が面白い人」は何をどう読んでいるのか	三宅香帆	新潮社
学校で！SNSで！失敗しない！中高生のための著作権入門	関口慶太 [ほか]	ミネルヴァ書房
カウンセリングってなにをするの？	細川貂々、浜内彩乃	創元社
資本主義を半分捨てる	青木真兵	筑摩書房
このプリン、いま食べるか？ガマンするか？	柿内尚文	飛鳥新社
女の“変さ値”	鎌田 實	潮出版
仮放免の子どもたち	池尾伸一	講談社
女子が自分らしく生きるためのお金計画	中野晴啓	翔泳社
働く女性の「社会保険」入門	米澤裕美	アニモ出版
女性のための老齢年金と遺族年金	拝野洋子	日東書院本社
男と女、どっちがずるい？	アルティシア、太田啓子	集英社
ジェンダー・ジャスティス	内田舞	幻冬舎
転落男性論	西井開	金剛出版
今世紀最大の理不尽	鳥飼茜	文藝春秋
10代のための「性と加害」を学ぶ本	櫻井裕子、斉藤章佳	時事通信社
ケアと編集	白石正明	岩波書店
僕には鳥の言葉がわかる	鈴木俊貴	小学館
複雑性PTSDの理解と回復	アリエル・シュワルツ	金剛出版
自分を傷つけることで生きてきた	村松英之	KADOKAWA
女性が建てた家と間取り	田中厚子、松下希和	エクスナレッジ
ツルクサナツコの一生	益田ミリ	新潮社
杏のとことこパリ子連れ旅	杏	ポプラ社
自分のことを書いてみる	岸本葉子	アスコム
あれは何だったんだろう	岸本佐知子	筑摩書房
がんがつなぐ足し算の縁	笠井信輔	中日新聞社
カティンの森のヤニナ	小林文乃	河出書房新社
ケアする心	キム・ユダム	白水社
イン・ザ・メガチャーチ	朝井リョウ	日本経済新聞出版
かっこいいピンクをさがしに	なかむらるみ	福音館書店

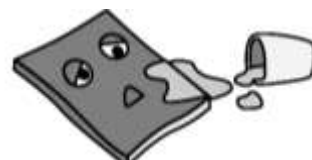


こちらから、蔵書目録や
新着図書一覧がご覧いただけ
ます。
どうぞご利用ください。

図書室からのお願い

- 本の返却期限をお守りください。
- 汚損された本が増えています。
本を大切に扱ってください。

泣いています！



《世界で話題になった本たち》



国際ブッカー賞

英語以外で書かれ、イギリスまたはアイルランドで英訳出版された文学作品に贈られる文学賞。

- 台湾漫遊鉄道のふたり 楊双子 2026
- (最終候補) 密やかな結晶 小川洋子 2020
- (最終候補) ヘブン 川上未映子 2022

全米図書賞

アメリカの文学賞で、翻訳作品を含む5部門で受賞作が選ばれる。

- 献灯使 多和田葉子 2018
- JR上野駅公園口 柳美里 2020
- 台湾漫遊鉄道のふたり 楊双子 2024
- (候補) ハンチバック 市川沙央 2026

国際アンデルセン賞（作家賞）

児童文学への永続的な貢献をした作家や画家が選ばれる。

- まどみちお 1994
「まど・みちお詩の本」など
- 上橋菜穂子 2014
「鹿の王」など
- 角野栄子 2018
「魔女の宅急便」など

ダガー賞（ミステリー文学賞）

優れた推理小説に贈られるイギリスの文学賞。

- ババヤガの夜 王谷晶 2025
- (最終候補) BUTTER 柚木麻子 2025

※ 図書・資料室所蔵から抜粋
年号は受賞した年



図書・資料室 利用案内

はじめて本を借りる方は、氏名や住所を確認できるもの(運転免許証等)をお持ちの上、利用登録をお願いします。

◆貸出について

貸出冊数：6冊まで 貸出期間：4週間

◆利用時間

午前9時～午後9時30分 ※年末年始(12月29日～1月3日)、施設メンテナンスの日は休館

◆所在地・お問い合わせ

練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

〒177-0041 練馬区石神井町8-1-10

☎ 03-3996-9099 (直通)

HP：<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/lib/index.html>

